

一般財団法人インターネット協会

第5回インターネット利用手記を募集中

応募締切:平成30年11月30日(金)

	①インターネット使いこなし部門	
	②インターネットトラブル克服部門	
	③親子のルール作り部門	
	④青少年のインターネット利用部門	

①インターネットを使って友だちや家族とのつながりが深まった②インターネットでトラブルに遭ったけれどこうやって克服した③子どものインターネット利用ルールを作るために奮闘した、④青少年目線で考えたルールや学校でのルール作り等の手記を募集しています。優秀作品を選考し、インターネット協会のウェブに掲載します。利用者や関係者の啓発活動の参考にしてもらうことを目的とします。皆さまよりご応募をお待ちしております。

1. 応募対象: インターネットを利用する方ならどなたでも
2. 応募文字: 800~1,200文字程度、マンガや写真を挿入しても可。
3. 選考結果: 平成31年1月下旬~2月上旬発表予定
4. 賞金賞品: 最優秀者4名(賞金5万円、賞品)、他複数名へ賞金・賞品を贈呈

応募したいと思われる方は、

下記の一般財団法人インターネット協会のホームページをご覧ください。

お問い合わせ: 電話 03-5844-6842 大久保、小南、島田

<http://www.iajapan.org/contest/>

① インターネット使いこなし部門



「遠隔勤務」

結婚を機に引越すため、上司に結婚報告をしたところ、上司から意外な返事がくる。働き方を大胆に提案できた上司や実現した会社がすばらしい。働き方改革が注目されている現況の中、企業のお手本となるエピソードである。

② トラブル克服部門



「本当の思いやり」

受験ストレスのはけ口として、メールで友達と励まし合うことが勉強のエネルギーになると肯定的に考えていた。だが、ネット依存気味で成績不振になってしまう。父親から説教されると思ったら想像を超えた話を聞かされる。

わが子の依存だけに必死になる親が多い中、「相手の立場、時間に気付かせてあげた」父親の声かけのうまさは、多くの保護者に参考にしてもらいたい。

本人は現在、教壇に立ち生徒へも伝授していることが素晴らしい。

③ 親子のルール作り部門



「子供にインターネットを使わせるということ」

親が子どもに教えるのではなく、一緒に話す。また、親は自分が分からないことがあれば何でも質問する。信頼関係があるから出来ることで、親子のやりとりがあるから信頼関係ができる。親の大きな覚悟が伝わってくる逸作である。

④ 青少年のインターネット利用部門



「ネットを通じた遊びと学び」

親がゲームを与えっぱなしにすることなく、常に興味を持って子どもと対話をしていることが良い。利用時間を守ることの難しさや、会話と文字とでは違う印象を相手に与えてしまうことなど、子どもとの話し合いにより、子どもに気づきを与える。

最後に「子どもが大好きなゲームと親友を通して、大切なことを学んで行ける事が嬉しい」と述べるころは、親の愛情がうかがわれる。